



【第13回 中の小川上流跡散策（伊勢神明社、御嶽三吉神社）】

- 日時：令和7年10月30日（木）10:00～12:00
- 場所：中の小川跡（北山地域）
- 参加者：企画員7名
- 活動内容：中の小川上流跡散策
国際交流館内流路→東北福祉大学脇→尾根道→伊勢神明社
→御嶽三吉神社（防空壕）→伊勢堂山大國主神→北山市民センター



中の小川があったであろう痕跡を辿りながらの散策。「きっとここを通って、あっちに流れていっただろう」などと、みんなで確認しながら進みました。ところどころ水が流れています、低くなっていますが手掛けられています。

尾根道は景色がよく、秋空の清々しい空気が本当に気持ちよかったです。仙台大観音や仏舎利塔、泉ヶ岳、七ツ森などを眺めながら小休憩。東北福祉大学脇の急な坂を上ってきたので、一層空気がおいしく感じました。それにしても、北山さんぽみちの企画員のみなさんの足腰は、おどろくほど丈夫です。





伊勢神明社



御嶽三吉神社



御嶽三吉神社敷地内にある防空壕

御嶽三吉神社の敷地には、防空壕があります。この防空壕は、東北帝国大科学計測研究所の資料の保管壕として作られたそうです。入口から奥までは、約15m、高さが約160cmだったので、真っ暗な中を足元と頭上を確認しながらゆっくり進みました。外の光が全く入ってこないので、みんなで声を掛け合いながらでないと怖くて進めませんでした。



帰りは石段や坂を下ります。上りよりも下りの方が足腰に負担がかかります。足元を確認しながら、慎重に歩みを進めました。

北山さんぽみちでは、四ツ谷用水や小川の軌跡を辿ったり、寺社仏閣内を散策したりするので、小道などの新たな発見があります。「ここ進めそうだな～」「この道どこにつながっているのだろう」などと、企画員のみなさんの探究心により学びが広がります。